

【意見】

新聞1面に食物アレルギーの児童が増えていると書いてありました。

沼田市ではどの様に対応していますか？

食物アレルギー児童の約1割はアナフィラキシーを起こしことがあり、アナフィラキシーを起こした際すぐに自己注射薬「エピペン」を打てるかで救命率が大きく変わるとされる。と書いてありました。

沼田市の学校では「エピペン」は常備されていますか？又、注射薬を打てる人はいますか？児童の命に関わることです。しっかり対応願います。

男性60代：市内在住

【回答】

全国的に、食物アレルギーを持つ児童生徒は年々増加しており、本市においても同様の傾向が見られます。

本市では、食物アレルギーを持つ児童生徒の情報を、保護者、学校及び給食センターで共有し、学校給食においては、原因食材を除いた除去食や代替食の提供等の対応を行っております。

ご指摘の「エピペン」につきましては、学校で常備するものではなく、激しいアレルギー症状「アナフィラキシー」の恐れがある児童生徒が、常時、ランドセルやカバンに保有し、その保有場所についても保護者と学校で共有の上、緊急時には教職員も使用できるよう講習を行っております。

今後も、児童生徒の安全を最優先に、対応を検討してまいりたいと考えております。

担当：教育部教育総務課